

第23課：時、自然結果の と

第23課把第20課的普通形和第22課的名詞前接續，放到兩個新句型裡。第一個是時，說「某個時候」。第二個是 辞書形+と，說「一發生 A，自然就會出現 B」。

今課有兩個 と 要分清。第21課的 と 放在內容句後面，表示「我覺得、他說」的內容。第23課的 と 放在動詞原形後面，表示自然結果或固定結果，例如 道をまっすぐ行くと、駅があります。它不是轉述，也不是意見內容。

■ 今課目標

- 用 動詞普通形+時 表達做某事時、做某事之前或之後的時間點。
- 分清 帰る時 和 帰った時 的時間差別。
- 用 い形容詞+時、な形容詞+な+時、名詞+の+時 說明不同狀態或身份下的時候。
- 用 辞書形+と 表達自然結果、固定結果、道路說明或機器操作結果。
- 分清第21課引用 と 和第23課自然結果 と。
- 知道結果 と 後面通常不接命令、請求、邀請或個人意志內容。

■ 今課的核心

時 是名詞，所以前面的接續很像第22課的名詞修飾：動詞用普通形，い形容詞直接接，な形容詞用な，名詞用 の。結果 と 則是另一個句型，前面常用動詞原形，後面說自然出現、固定會發生、按路線或操作便會得到的結果。

先分清兩條主線

句型	功能	例句
普通形+時	說某個時候	図書館へ行く時、 <small>がくせいしょう</small> 學生証を持って行きます。
辞書形+と	說自然或固定結果	このボタンを押すと、 <small>でんき</small> 電気がつきます。

一、時的入口：像修飾名詞一樣接

■ 時是名詞

時本身是名詞，意思是『時候』。所以前面要像第22課修飾名詞一樣，先判斷前面是動詞、い形容詞、な形容詞，還是名詞。這個判斷比逐句背答案更穩定。

時 前面的四個入口

前面類型	接續	例子	意思
動詞	動詞普通形+時	行く時／行った時	去的時候／去了之後那時
い形容詞	い形容詞+時	寒い時	冷的時候
な形容詞	な形容詞+な+時	ひまな時	有空的時候
名詞	名詞+の+時	子どもの時	小時候

■ 形式規則

做時句的步驟

1. **第一步**：先想清楚 時 前面是動詞、い形容詞、な形容詞，還是名詞。
2. **第二步**：動詞用普通形，例如 行く時、行った時、行かない時。
3. **第三步**：い形容詞直接接 時，例如 忙しい時。な形容詞用 な，例如 静かな時。名詞用 の，例如 学生の時。
4. **第四步**：再寫 時 後面的主句，說明那個時候會做甚麼、發生甚麼，或情況怎樣。

時 前面的形式，先用第20課普通形和第22課名詞前接續檢查。不要由 ます形 刪一半來猜。

■ 例句

1. 学校へ行く時、水を持って行きます。
→ 上學時會帶水去。行く時 是去之前到去的過程那段時間。
2. 駅で友だちに会った時、一緒に写真を撮りました。
→ 在車站見到朋友時，一起拍了照。会った時 是見到之後那一刻。
3. 朝忙しい時、朝ご飯を食べないことがあります。
→ 早上忙的時候，有時不吃早餐。い形容詞直接接 時。
4. 週末ひまな時、近くの公園を散歩します。
→ 週末有空時，會在附近公園散步。ひま 是な形容詞，要用 ひまな時。
5. 高校生の時、よく図書館で勉強しました。
→ 高中生的時候，常常在圖書館溫習。名詞接 時 要用 の。

■ 練習

一、按提示合成 時 前面的短語。先判斷前面類型，再選普通形、な 或 の。

- ① 学校へ行きます → 学校へ_____時
- ② 友だちに会いました → 友だちに_____時
- ③ 忙しいです → _____時
- ④ ひまです → _____時
- ⑤ 高校生です → _____時
- ⑥ 雨が降りません → 雨が_____時

二、帰る時 和 帰った時：時間點不同

■ 不是禮貌差別，而是時間差別

帰る時 和 帰った時 最容易混淆。帰る時 用非過去普通形，指回家之前或正要回家的時候。帰った時 用た形，指已經回到家之後那個時候。兩者不是丁寧形和普通形的差別，而是動作完成前後的差別。

帰る時 和 帰った時

形式	看哪個時間	自然例句
帰る時	回家之前、正準備回家時	帰る時、先生にあいさつします。

形式	看哪個時間	自然例句
帰った時	已經回到家之後	いえ 家へ帰った時、 ^{はは} 母はもう寝ていました。
出かける時	出門之前、正要出門時	出かける時、 ^{まど} 窓を閉めます。
出かけた時	出門之後那時	出かけた時、 ^{あめ} 雨が降っていました。

■ 例句

1. 家へ^{いえ}帰る時、コンビニで^{ぎゅうにゅう}牛乳を買います。
→ 回家途中或回家之前，會在便利店買牛奶。買牛奶發生在回到家之前。
2. 家へ^{いえ}帰った時、^{おとうと}弟はリビングでテレビを見ていました。
→ 回到家時，弟弟正在客廳看電視。這是到家之後看到的情況。
3. 教室を^{きょうしつ}出る時、^{でんき}電気を消してください。
→ 離開課室時，請關燈。關燈是在離開之前或離開那一刻做。
4. 教室を^{きょうしつ}出た時、^{あめ}雨の音が聞こえました。
→ 離開課室之後，聽到雨聲。先出了課室，然後聽到。

■ 練習

二、選擇 帰る時、帰った時、出る時 或 出た時，完成意思自然的句子。留意動作完成前後。

- ① 回家之前買麵包：家へ^{いえ}_____、パンを買います。
- ② 回到家之後看見爸爸在煮飯：家へ^{いえ}_____、^{ちち りょうり}父は料理をしていました。
- ③ 離開課室前關冷氣：教室を^{きょうしつ}_____、エアコンを消してください。
- ④ 離開課室後見到老師：教室を^{きょうしつ}_____、^{せんせい}先生に会いました。

三、時 句的常見用法

■ 先說時候，再說行動或情況

時 句常用來講生活習慣、某個狀態下的做法、過去某個身份或階段的經驗。練習時不要每句都寫同一個人和同一個地方，換時間、人物、場合，會更接近真實使用。

時 的使用方向

想表達	常用形式	例句
某動作發生時	動詞普通形＋時	新しい言葉 <small>ことば</small> を <u>覚えた時</u> <small>れいぶん</small> 、例文も書きます。
某狀態下	形容詞＋時	からだ ちょうし 体の調子が <u>悪い時</u> 、早く寝ます。
某身份或時期	名詞＋の＋時	だいがくせい <u>大学生の時</u> <small>えき</small> 、駅の近くに住んでいました。

■ 練習

三、用 時 寫完整句子。後半句可用 **ます** 形保持禮貌。

- ① 朝忙しい、コーヒーだけ飲む → _____
- ② ひま、映画を見る → _____
- ③ ちゅうがくせい にほんご べんきょう
中学生、日本語を勉強しなかった → _____
- ④ 友だちに会った、しゃしん 写真を撮った → _____
- ⑤ あめ こうえん さんぽ
雨が降らない、公園を散歩する → _____

四、辞書形＋と：自然結果、固定結果

■ 一 A，自然就 B

辞書形＋と 表示 A 發生後，B 自然出現或固定會發生。常見於自然現象、道路說明、機器操作、規則和習慣性的結果。這裡的 と 不是第 21 課的引用 と。と 前面不是『說話內容』，而是一個條件動作。

第 21 課 と 和第 23 課 と

課數	形式	功能	例句
第 21 課	普通形＋と思います／と言います	標示想法或說話內容	<small>あした あめ</small> 明日雨が降ると思います。
第 23 課	辞書形＋と、結果	標示自然或固定結果	このボタンを押すと、 <small>でんき</small> 電気がつきます。

■ 例句

1. 春はるになると、公園こうえんの花はなが咲きます。
→ 一到春天，公園的花就會開。這是自然、季節性的結果。
2. この道みちをまっすぐ行くと、右みぎにコンビニがあります。
→ 沿這條路直行，右邊會有便利店。這是道路說明。
3. このボタンを押すと、画面がめんが明るくなります。
→ 按這個按鈕，畫面就會變亮。這是機器操作結果。
4. 夜遅よるくコーヒーを飲むと、なかなか眠れません。
→ 晚上很晚喝咖啡，就很難睡著。這是常見結果，不是一次性的邀請或命令。
5. 駅えきを出ると、前まえに大きいバス停があります。
→ 一出車站，前面就有大型巴士站。這是位置結果。

■ 練習

四、用 辞書形+と 完成自然結果句。前面動詞用原形，後面寫自然或固定結果。

- ① 春はるになる、花はなが咲く → _____
- ② このボタンを押す、音が出る → _____
- ③ この道みちをまっすぐ行く、駅えきがある → _____
- ④ 夜遅く食べる、よく眠れない → _____
- ⑤ 右みぎへ曲がる、郵便局ゆうびんきょくが見える → _____

五、結果 と 後面不適合放意志、命令、邀請

■ 後面要像結果，不像安排

結果 と の後半句通常說自然出現的結果，不適合放說話人的命令、請求、邀請或個人打算。想說『如果有時間就一起去吧』這類人為安排，之後會學其他條件句。今課先把 と 限定在自然結果、固定結果、道路和操作說明。

結果 と 後半句的限制

後半句	是否適合	例子
自然結果	適合	春 <small>はる</small> になると、暖かくなります。

後半句	是否適合	例子
固定位置或道路結果	適合	^{みぎ} 右へ曲がると、 ^{ぎんこう} 銀行があります。
機器操作結果	適合	ここを押すと、ドアが開きます。
命令、請求	通常不適合	^{じかん} 時間があると、手伝ってください。
邀請、個人意志	通常不適合	^{じかん} 時間があると、一緒に行きましょう。

■ 練習

五、判斷後半句是否適合用結果 と。適合的寫 O，不適合的寫 X。

- ① このボタンを押すと、ドアが開きます。 → _____
- ② ^{はる}春になると、暖かくなります。 → _____
- ③ ^{じかん}時間があると、一緒に^{えいが}映画を見ましょう。 → _____
- ④ ^{みぎ}右へ曲がると、コンビニがあります。 → _____
- ⑤ 分からないと、^{せんせい}先生に聞いてください。 → _____

■ 常見錯誤

- **×** 忙しいの時
○ **忙しい時**
い形容詞直接接 時，不加 の。
- **×** ひま時
○ **ひまな時**
な形容詞放在 時 前面要用 な。
- **×** 学生時
○ **学生の時**
名詞放在 時 前面要用 の。
- **×** 帰る時、母はもう寝ていました。想講回到家後看到媽媽已經睡了
○ **帰った時、母はもう寝ていました。**
已經回到家之後看到的情況，用 帰った時。
- **×** 明日雨が降ると、先生が言いました。想講老師說明天下雨
○ **先生は明日雨が降ると言いました。**
轉述說話內容用第21課引用 と，不是第23課結果 と。
- **×** 時間があると、一緒に行きましょう。
○ **今課先不要用結果 と 表達邀請**
結果 と 後面通常不接邀請、命令、請求或個人意志內容。

■ 練習

自己輸出：先寫兩句 時，再寫兩句 辭書形＋と。時 句要包括一個動詞入口和一個形容詞或名詞入口。と 句只寫自然結果、道路說明或機器操作結果。

- ① 動詞普通形＋時： _____
- ② 形容詞或名詞＋時： _____
- ③ 自然結果の と： _____
- ④ 道路或操作説明の と： _____

整理：畫兩欄，左邊寫 時 的四個入口，右邊寫結果 と の三個常見情境。每欄各補一個自己的例句。

■ 教師備註

第23課建議先從第22課名詞修飾轉入時。板書可直接把 新しい店、静かな町、日本語の本 改成 新しい時、静かな時、学生の時，讓學生看到接續邏輯。動詞部分回到第20課普通形，不用ます形倒推。

■ 教師備註

帰る時 和 帰った時 要用時間線處理。帰る時 是回家前或正要回家的時候，帰った時 是已回到家後那一刻。可用 教室を出る時／教室を出た時 作第二組對照，避免學生只背一組例句。

■ 教師備註

第21課引用 と 和第23課結果 と 要刻意分開。引用 と 前面是一句內容，後面常接 思います、言います。結果 と 前面多用動詞原形，後面是自然或固定結果。本課不提前教第24課授受，也不把第25課 たら、ても 放進主線。

■ 教師備註

結果 と 的限制要明講，但不用把條件句系統全部展開。學生只需知道命令、請求、邀請和個人意志通常不放在結果 と 後面。若學生想表達這些意思，先標記為之後條件句會處理。

■ 答案

1. 行く
2. 会った
3. 忙しい
4. ひまな
5. 高校生の
6. 降らない

■ 答案

1. 家へ帰る時、パンを買います。
2. 家へ帰った時、父は料理をしていました。
3. 教室を出る時、エアコンを消してください。
4. 教室を出た時、先生に会いました。

■ 答案

1. 朝忙しい時、コーヒーだけ飲みます。
2. ひまな時、映画を見ます。
3. 中学生の時、日本語を勉強しませんでした。
4. 友だちに会った時、写真を撮りました。
5. 雨が降らない時、公園を散歩します。

■ 答案

1. 春になると、花が咲きます。
2. このボタンを押すと、音が出ます。
3. この道をまっすぐ行くと、駅があります。
4. 夜遅く食べると、よく眠れません。
5. 右へ曲がると、郵便局が見えます。

■ 答案

1. O

2. O

3. X

4. O

5. X